

嬉しいメールを頂きました。



服部商店の大事な御取引先の社長様から大変嬉しいメールを頂きました。全文をそのまま記事にさせていただきます。

株式会社服部商店

社長様

いつもお世話になっております。神戸市中央区のアートワークスです。4月にいただいたホワイトアッシュ材を使用した保育園の家具を先日納品してまいりました。保育園の園長先生、保育士の先生、父兄の方々よりたいへん喜ばれましたので、お知らせさせていただきます。通常であれば、保育用品の業者の合板製の家具をそろえることが多い中、園長先生の保育に対する信念や情熱で、このような無垢材の家具をつくらせていただきました。い

ろいろな木目が、なにかににているな、と想像を膨らませるような時間をもてる家具になったとおもいます。本体はホワイトアッシュの組み継ぎで、オスモのクリアオイル仕上、ひきだし鏡板はマホガニーオイル仕上、ひきだしの内部は桐材です。一人の園児に、二つのひきだしが割り当てられます。このようなお仕事をさせていただくと、オーダー家具をつくって来て良かったと思えます。なかなか、無垢材ばかりのお仕事はいただけないのが現状ですが、今後とも、ご協力お願いいたします。

有限会社アートワークス

大段奈保子

神戸市中央区割塚通 5-1

JR 高架 45 号

tel.078-230-6606

fax.078-242-7166

<http://www.aw-kobe.co.jp>

odan@aw-kobe.co.jp

服部新聞を購読して頂いている建築士さんは多数いらっしゃいますが、ここまで子供達の為に予算を取っていただける物件は決して多くないと思います。是非見て頂きたいと思い今回取り上げさせていただきます。

そしてこのような素晴らしい物作りが出来る木工所が関西にも有り今後の設計に是非取り入れて欲しいと思います。

問い合わせは左記の連絡先にお問い合わせ下さい。

今シーズンの服部雅章の北海道の足跡を数字で出してみました。

	338回 9月	339回 10月	340回 11月	341回 12月	342回 1月	343回 2月	344回 3月	345回 4月	346回 5月	347回 6月	合計 立方
カツラ			1.108	1.749	2.628	6.607	2.529	3.443		2.884	20.948
ホオ		1.385				1.797					3.182
セン				2.033		1.248	0.849				4.130
ナラ	3.755	1.000	5.615	6.474		6.395	6.774	6.023		0.649	36.685
タモ		1.756	1.254	9.615			2.978	1.192	7.374	0.865	25.034
シナ		1.043	10.361		0.578		4.915	3.084			19.981
マカバ					2.529						2.529
シュカ				2.265	0.696			0.980			3.941
サクラ			0.458	1.218	1.506	1.771					4.953
アサダ	0.352		0.815	2.516	0.384		1.528				5.595
キハダ			0.311	3.990	0.960	2.031	1.628				8.920
ヤナギ	1.157			1.419				1.579		0.846	5.001
イチイ	2.859					1.335	0.797				4.991
ブナ				0.642							0.642
エゾユ				0.369							0.369
メジロ					1.352						1.352
クリ						0.466					0.466
クルミ							0.692	0.523			1.215
ナット									1.153		1.153
合計	8.123	5.184	19.922	32.290	10.631	21.650	22.690	16.824	8.527	5.244	151.085
全体	732	954	1,405	1,936	2,733	3,809	4,167	3,660	1,013	855	21,264

*服部商店全体の入荷数量では有りません。服部商店の全体の原木仕入れの数字は出せませんが、皆様に良質材を上手く買い付けしている証拠を是非見て頂きたいと思いこの表を製作しました。北海道以外の買い付けの広葉樹原木(ウオールナット・チェリー・カツラ)の仕入れも相当有りますが、それは、この表に入っていません。

*旭川の広葉樹銘木市に出品されている広葉樹原料は全部で 21,264 立方でした。その中から選りすぐりの良質材を 151 立方買い付けてきましたが、全ての原木を 1 本 1 本全て見てきました。

- 1、日本固有の樹種カツラ・セン・マカバが凄く仕入れが困難でした。
- 2、広葉樹のシーズンの最も盛りは1 1月～3月の期間で有る事が解ります。
- 3、ナラ・タモはほぼ全量ロシア材ですが、タモもナラも普段どおり入札していますが、タモ材の入荷が低い事が解ります。つまり今年はナラよりタモの方が仕入れに困難が有った証拠だと思います。
- 4、クルミ材の入手が困難になっているのも解ると思います。クルミは本来多く無い樹種ですが細い 30 センチクラスの原木は有りますが、40 センチ上の太い原木の資源が枯渇している証拠だと思います。
- 5、昨年の表が無いので比較は出来ませんが、広葉樹の大先輩から次のシーズンはもっと買いにくくなるから多少多く在庫を持つことが必ずお客様の為になるからそうしなさいと言うアドバイスを聞いて多く仕入れをしました。

6、10年前の服部商店は、仕入れ樹種は7～8種類まででした。それがこれだけ多くの樹種の仕入れに変更したのは、理由が有ります。それは全ての樹種の仕入れが難しくなっているからです。7～8種類から19種類に分散する事で、偏った仕入れの負担を少しでも少なくする必要が有ると考えたからです。集中から分散が今年のテーマでした。

7、余談ですが1年間何とか頑張りましたが、資金的には凄く辛かったです。市に参加するには、前金（保証金）が毎回50万円必要です。そして落札後残りの代金を全額振り込まなければ材は動かせません。運賃も現金決済です。余程資金繰りにゆとりがないと出来ない仕事です。服部商店の強みであり競争力はこの辛い資金繰りを、何とかこなせた事だと考えています。

お客様から頂いた写真です。無垢の素晴らしさを見て下さい。



上の二枚の写真は弊社のお客様の商品の写真です。材料は服部商店自家工場にて製材した広葉樹製材品を使って頂きました。樹種はタモ材です。購入して頂いたタモの製材品の厚みは45ミリの柃板と40ミリの柃板と34ミリの柃板とタモの80角材です。

無垢の木材の良さを一言で言い表すのは凄く難しいですが、目で見ると本当に凄さが解ります。服部新聞で無垢の良さを小生が皆様特に建築士の方々に説明申し上げてきましたが、今回のアートワークス様と樋口晃史様から頂いた写真を見ていただければ、小生が何も言わなくても無垢の良さをご理解していただけると思います。

お世話になります。

このあいだ購入させて頂いた材でのダイニングセットを納品してきました。お客様にも喜んで頂き、いい仕事が出来ました。有難うございました！また宜しくお願い致します。

樋口晃史

被災者の方から嬉しいメールを頂きました。

(株)服部商店 服部雅章 様

こんばんわ。Tinyman's 工房の阿部です。服部新聞読まさせていただきました。

感想と致しまして、僕のように木材の「も」もよくわからない者でもよくわかる内容と木に対する思いや木材に関わる業界の未来を本気で考えさせられる良い新聞だと感じました。

現在、広葉樹があまりないことや国内において針葉樹の間違った扱い等を知ることができまして僕も業界やこの国自体の将来を客観視できないと感じました。

そして、人間の生きたか自体も。僕の木に対する知識と言えば、構造材として使う杉やヒノキまたは外材の米松くらいでしたし、無垢の枠材として使うアガチスです。

自分のことをお話しますと、父が個人で工務店を営んでおりまして、20代半ば頃から現場へ出て仕事の手伝いをしておりました。

近年は父の仕事もあまりなく月に数日手伝う程度でしたが、震災をキッカケに自体は一変しまして今は休みがあまりない状態でお客様の住宅のリフォームや修理に多くの時間を費やしている状態です。

僕はもともと大工職人になるつもりはなく、自分で自分なりの商売をしたく昨年ネットを利用して全国のお客様へ木製のトイレペーパーホルダーをお届けしておりました。費用をかけて宣伝もしてませんが、定期的にブログを書いているくらいですが、ニッチな商品なのが良いのでしょうか？全国からたくさんのご注文があります。

それでもそれだけで食べていけないので新たに色々チャレンジしようと思った矢先に311の大地震と大津波そして原発事故でした。

一時は千葉へ避難しておりましたが、父のお客様からの仕事の依頼があり、手伝いをする状況になりましていわき市へ戻り現在の状況です。仕事があり、普通の生活ができることは本当にありがたいことと実感しております。

そんな中でも秋口からは自分の本業に時間を使っていきたいと考えております。僕も辰年の六白金星でさらにB型ですので自分の考え・間合で行動したいタイプなんです(^o^)たくさん色々なアイデアがあり実行したくウズウズしております。

話は反れてしまいましたが、服部新聞は本当に見ごたえがある内容と服部様の人柄が現れた素晴らしい新聞でした。今まで作った木のホルダーでは『タモ』『さくら』『杉』『イエローパイン』『ヒノキ』などですが、どれも父の作業場で眠っていたモノや知り合いの大工さんに譲ってもらったもので製作しておりました。しかし、Tinyman's 工房の今後の活動を考慮しまして新たに木材の仕入れが必要ということから色々探していたとこでした。

そんな中で服部様のような『本物』の知識や思いに触れさせて頂き、『木の対する』考えがまた変わりまして本当に勉強になりました。

ありがとうございます。また改めてお伺いすることもあると思いますのでその時は宜しくお願い致します。

ちなみに現在の現場は樹齢800年(聞いた話ですが)のクスノキの下にある神主さんの自宅の修理をしております。

近くの神社には市の保護樹木でもある大ケヤキがあり、よく下から眺めに行きます。

木って本当にいいものですね。

小生は阪神大震災を経験しましたが、大阪の南の地区に住んでいたためそんなに多くの困難は経験していません。今回の被災地の方々に義援金を纏まった金額を寄付しましたが、これは日本人としては、極当たり前の事で有りまして誉められる事では決して有りません。お金だけが震災に遭われた方々を支援出来るものでは決してないと考えています。

関西に住んでいる小生が出来る事を考え今回 Tinyman's 工房の阿部様に服部新聞をお送りしたのですが、新聞を読んで頂きこんなに嬉しいお返事を頂けるとは想像していませんでした。

この嬉しいメールを、服部新聞を読んで頂いている方々約1800人の方たちに見て頂く事も今回の震災を考える事になると思い記事にさせて頂きました。

マスコミで政府の対応が遅い等の報道が盛んに報じられていますが、何もかも政府に頼るわけにも行かず我々国民一人一人が、おのおの何が出来るかを考え行動していくしか被災地の方たちを支える手段はないと思います。これから先日本人が一致結束してくれる事を小生は望みます。